

Title	地域発に学ぶ新イノベーションシステム
Author(s)	
Citation	年次学術大会講演要旨集, 17: 182
Issue Date	2002-10-24
Type	Presentation
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/5920
Rights	本著作物は研究・技術計画学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Science Policy and Research Management.
Description	シンポジウム

シンポジウム

地域発に学ぶ新イノベーションシステム

基調講演

長田 純夫 福岡大学工学部教授、北九州産学連携推進室長

「第三世代の産学官連携」

前田 昇 高知工科大学大学院教授

「地域イノベーションシステムにおけるハイテクベンチャーの役割

ー欧米クラスター成功要素から見た日本の地域産業集積への提言ー」

事例報告

永井 千秋 財団法人新産業創造研究機構

「研究開発コンプレックスを基盤とする新産業創造」

川崎 順一 新日本製鐵株式会社

「K-RIP（九州地域環境・リサイクル産業プラザ）の発想と活動」

吉村 清己 エイコーシステムズ株式会社

「弊社のレンタルシステム戦略」

稲村 實 岡山県産業振興財団

「産のニーズを基にした産学官連携活動

ー岡山県のネットワーク構築型RSP事業の例ー」

柴田 勝喜 財団法人岐阜県研究開発財団

「スイートバレー構想と産学官連携」

ディスカッション

加藤 善一 文部科学省 研究環境・産業連携課長

橋本 正洋 経済産業省 大学連携推進課長

森谷 賢 環境省 廃棄物・リサイクル室 産業廃棄物課長

司 会

谷口 邦彦 大阪大学先端科学技術共同センター 産学連携コーディネータ

<開催趣旨>

科学技術基本法・科学技術基本計画においても地域科学技術政策の重要性が提起され、これに基づく各種の地域施策が推進されている。また、今後、科学技術の応用分野が産業応用から環境・健康・医療など生活分野に広がるとともにそれぞれの地域の特性に基づく多様なイノベーションシステムの展開が期待されている。

特にイノベーションの持続的な創出には、地域の特性に基づくニーズと「知」の創成拠点である大学の成果との効果的な融合に基づくイノベーションコアの継続的な創成システムが構築されていることが必須である。

本シンポジウムでは、このような観点に基づいて学術的なオリエンテーションと地域で活躍している方々からの事例報告に対して、産学連携の振興を担当する官界からのコメントをいただき、今後の方向について参加者とともに考える機会としたい。